

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 凜 近江八幡 ひなた		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所間で多職種と連携を図って専門的な療育・評価を実施している。	評価をもとに本人に合わせた支援を行っている。	個々のスキルアップ及び統一した療育を実施できるように研修や話し合いの場の頻度を上げていく。
2	ご家族のニーズに合わせた支援や関係機関への情報交換・共有を実施している。	情報をもとに職員間で共有し、発達に合わせた活動、環境を考えている。	関係機関との連携を強化し、相談員の見学をより良いものにしていく。ご家族の相談内容への対応を迅速に行っていく。

3	利用児に合わせた環境調整を行い、安心できる空間作りが利用時の安定に繋がっている。	利用児や職員が安全に生活するための環境作り、危険予測を職員全員で行い共有し日々振り返りを実践している。	ヒヤリハットを活用し事故防止のためのサイクルを築けるように、安全グッズを購入したり、シミュレーションを実施しているので再発防止ができるように検証を行っていく。
---	--	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者とのコミュニケーションの頻度や保護者同士が集まる機会が少ない。	面談以外でのコミュニケーションの場がない。事業所からの発信が少ない。保護者が共働きが多く、保護者会を行うとしても時間設定が難しい。	交流の場を検討し、保護者に意見や希望を聞く。イベントや地域の資源を調べ、協力してもらえそうな機関にアプローチを行う。
2	地域交流の機会が少ない。	自治会の夏祭りに参加したが、それ以外の交流する場が少ない。車椅子で移動できる環境も少ない。	環境を考慮しながら、地域の資源を調べ事業所を知ってもらうことから始める。事業所に招いて事業内容や利用児についても理解を深められるようなサロン等始められるような情報収集を行う。
3			